

# 頚動脈内膜剥離術における顎二腹筋後腹を基準とした静脈形態分類と 舌下神経局在の関係に関する後方視的手術動画研究

済生会熊本病院では、医学の発展とより安全な手術手技の確立を目的として、患者さんの診療情報および手術動画・術中画像を使用し、本研究を実施します。ご質問や情報利用停止のお申し出は、末尾の「問い合わせ先」へご連絡ください。

## 研究の目的と方法

頚動脈内膜剥離術は、首の血管の狭くなった部分を取り除き、脳梗塞を予防するための手術です。手術では、舌を動かすために大切な「舌下神経」を傷つけないことが重要ですが、神経の周囲には静脈が複雑に走っており、安全に神経を確認することが難しい場合があります。当院では、首の脂肪組織を一定の方法で丁寧にめくり上げる独自の手術手技を用いおり、静脈や神経の近くを走る静脈の特徴が観察しやすくなりました。本研究では、これまでの手術記録や動画を詳しく調べ、静脈の走行パターンと舌下神経の位置関係を明らかにすることで、将来の手術をより安全に行うための目印を見つけ、合併症の予防につなげることを目的としています。

診療を通じて既に記録された情報のみを使用します。この研究のために新たな検査、治療、通院または調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2023 年 1 月から 2025 年 12 月までに済生会熊本病院で頚動脈内膜剥離術を受けた方(予定 64 名)

## 使用する試料・情報

年齢、性別、手術日、手術側、術前後の神経学的所見、一過性および永続性の舌下神経麻痺、手術記録、顎二腹筋後腹、頚動脈脂肪体、周囲静脈、舌下神経、頸神経ワナ、頚動脈鞘および頚動脈の位置関係を確認できる手術画像・手術動画

使用開始予定日:2026 年 8 月 4 日

## 研究予定期間

2026 年 8 月 4 日～2028 年 3 月 31 日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を直接特定できる情報を解析用データから削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は解析データとは別に、院内のセキュリティ管理された環境で保管し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果は学会や医学雑誌で発表する予定です。手術画像や動画を使用する場合も、氏名、患者 ID、撮影日時など個人を特定できる情報を削除し、個人が特定されることはありません。

[研究情報管理責任者]脳神経外科 加治正知

[個人情報管理責任者]院長 中尾浩一

## 研究への協力について

---

研究目的にご自身の診療情報、画像または手術動画を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も診療上の不利益は生じません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書その他の関連資料を閲覧できます。

### 問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経外科 加治正知

住所: 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話: 096-351-8000(代表)

対応時間: 平日 9 時～17 時